

僕は大学卒業後、2008年から2010年の2年間の修士課程を免疫学講座で過ごしました。ここで、中尾教授をはじめとして、優れた師や先生方、志の高い学生に出会ったことがきっかけとなり医師になる決意をしました。もし自分が山梨大学の大学院に行っていなかったら医師になろうとは思わなかったでしょうから人生は出会いだな、とつくづく思います。修士終了後は薬剤師として働きながら一般入試と学士編入試験の両方を視野に入れて受験勉強をやり、今年なんとか弘前大学医学部に2年次後期編入学することができました。

授業のスタートとともにいきなり解剖学実習が始まりました。医師になれる、という実感がじわじわと湧いてきている今日この頃です。まだ勉強を含めた生活のペースが全くつかめていませんが、この状況は僕が免疫学講座に来た当時と非常に似ています。

あの時も最初は大変だったけれど、あとは普通にやっていたので、今回の学生生活も真面目にやればきっと大丈夫だろう、という経験からくる、ある種の気楽さのようなものがあります。

日々の勉強を通し、20代前半の頃と比較して、記憶力の衰えは確かに感じていますが、やる気と繰り返し反復することでカバーできると思っています。

以上、ようやくスタートラインに立てたので、これから4年半で卒業できるように一生懸命勉強します。免疫学講座の皆さん、これからもどうぞよろしくお願ひします。.